



うつ・パニック・自律神経症状の
患者さんをファン化して7年顧客にする

対応法 & 手技療法

かとう癒療院 院長

加 藤 陽 一（かとうよういち）

自己紹介

- メンタル自律神経専門「かとう癒療院」院長
- 腰痛専門「かとう整体」院長
- (株)ホリスティック・ラボ 代表取締役
- 上級心理カウンセラー・整体師
- “鎮痛療法” 開発者
- 著書

「うつ・自律神経失調症 なぜあなたに起こっているのか」

「スタートダッシュで差をつける！治療院開業準備マニュアル」

かとう整体、かとう癒療院

千葉市緑区誉田町（JR 外房線 誉田駅 徒歩5分）

〈 1 F 〉 腰痛専門「かとう整体」

40～60代 女性7：男性3

『痛みがない！』を実感できる整体院

〈 2 F 〉 メンタル自律神経専門「かとう癒療院」

〔メンタル〕うつ病・パニック障害・不安障害

〔自律神経〕めまい・ふらつき・どうき・過敏腸

検査機による客観的な視点と専門療法

≡ リピート率と定着率

- ▶ 5回リピート率 97.6 %
- ▶ 半数以上が7年以上の固定患者
- ▶ うち約7割がメンタル・自律神経症状に罹患、または、既往歴あり
(全体の約40 %)

※ 筋・骨格系が主訴の患者さんでも、
実は意外に多い!!

リピート率と定着率

▶ 5回リピート率 97.6%

▶ 半数以上が5年以上の固定患者
▶ うち約7割がメンタル・自律神経

症状に罹患、または、既往歴あり
(全体の約10%)
広告費ゼロ

※ 筋・骨格系が主訴の患者さんでも、
実は意外に多い!!

“B O S S” というカテゴリー

B O S Sとは...

Brain Overwork Sensitive Syndrome

= 脳疲労性過敏症候群

※医学用語ではなく、加藤陽一が一般患者さんと
区別するために、便宜上使っている造語。

継続的なストレスによって、脳が過労状態となり、
精神的、身体的な過敏症状が出ている人、または、
その予備軍。

エピソード

- 私自身、前職のサラリーマン時代6年半の大うつ病・パニック障害・自律神経失調症・身体表現性障害の経験者
- 医療機関を始めさまざまな治療をするも全く改善の兆しが見えなかった
- その最中、妻が胃がんに（2/3 摘出）
- 救ってくれたのは“民間療法”の整体院
- 「同じような症状（BOSS）の人を救いたい！」との強い思いから治療家に転身

BOSS 対応の波紋

“行き場を失っている” BOSS の人たち

⇒ 安心して心身を任せられる場所を提供

⇒ BOSS の人たちを救える

⇒ 社会貢献

⇒ 治療院の売上安定

⇒ 患者さん・社会・治療家 すべてがWIN

BOSS の人たちの特徴

[一般] 改善に向けたアドバイスなどを積極的に実践する

[BOSS] 自分で治そうという意欲がない

[一般] “今” どこがつらいかを訴える

[BOSS] 症状の経過のメモを持参する

[一般] 経過については大まか

[BOSS] 症状発症からの経過を細かく説明する

[一般] 他の治療院に行かなくなった理由が明白

[BOSS] ドクターショッピング

BOSS の人たちの特徴

[一般] ポジティブな目標がある

[BOSS] 何のために良くなりたいかを話さない

[一般] 「良くなったら…」といった未来の話をする

[BOSS] 話しの内容がすべて過去

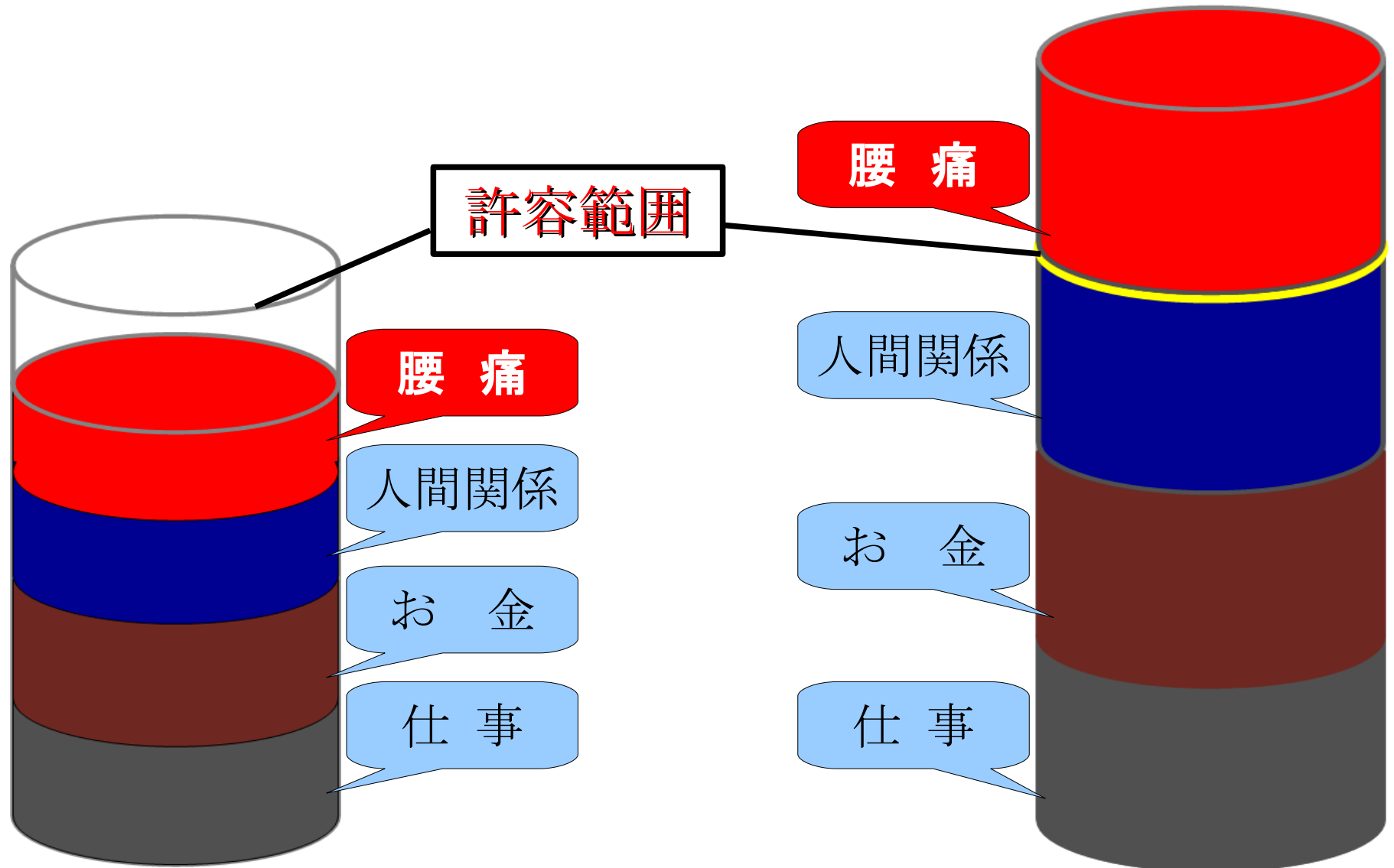
[一般] 雑談や“喜楽の感情”を現す会話が多い

[BOSS] 自虐的、他虐的な話が大半<怒哀の感情>

BOSSの人たちに何が起きているのか

【一般の患者さん】

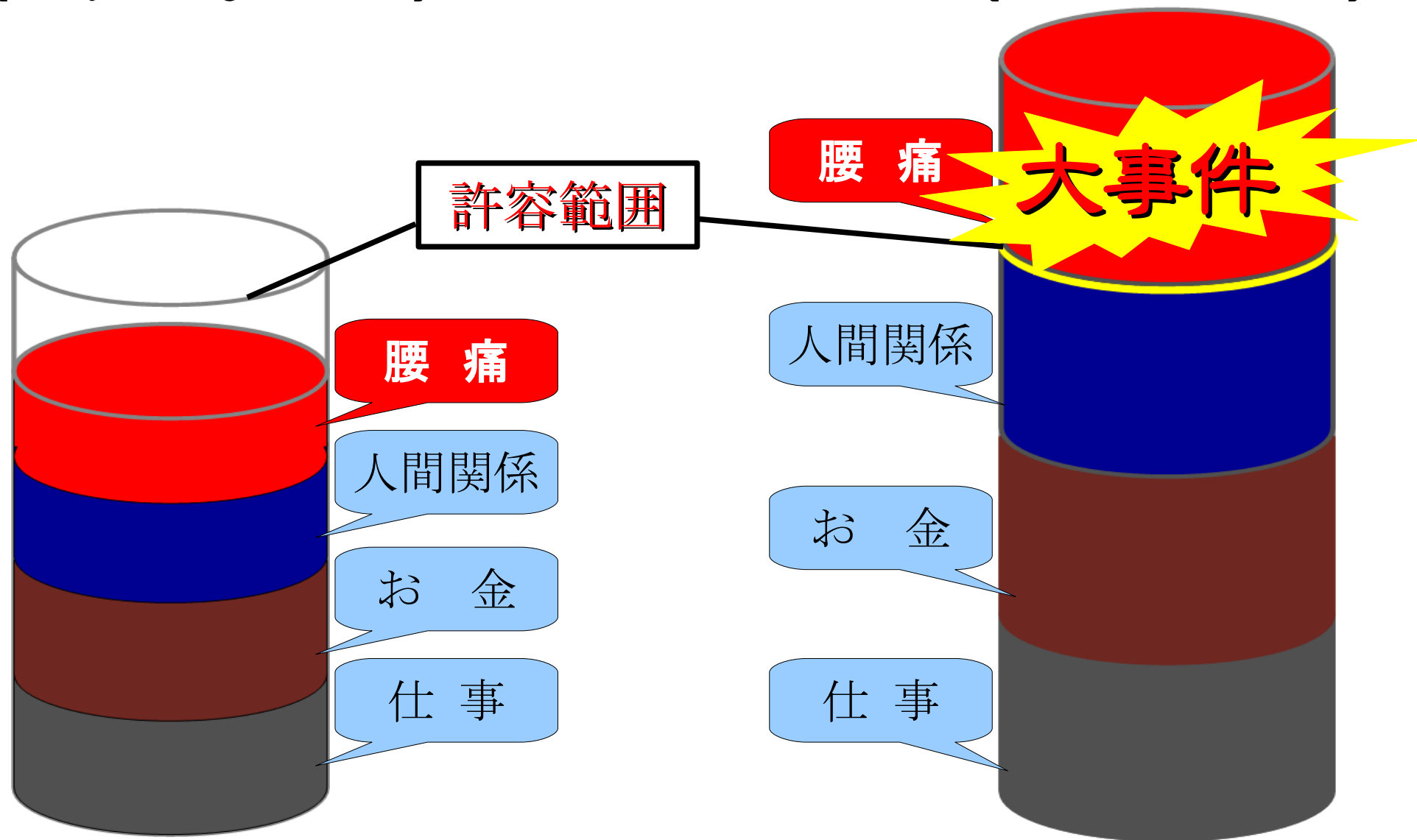
【BOSSの人たち】



BOSSの人たちに何が起きているのか

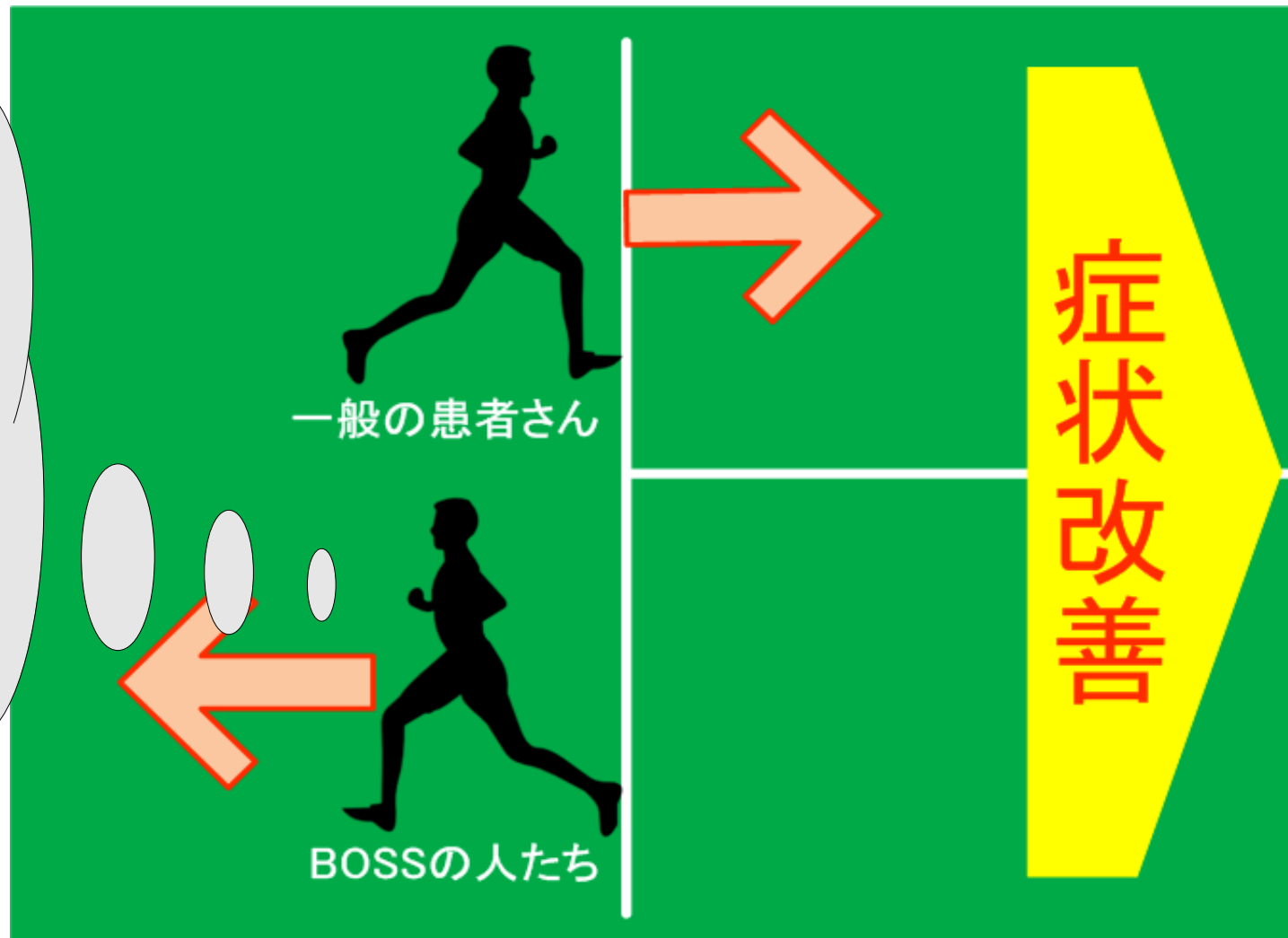
【一般の患者さん】

【BOSSの人たち】



三 症状改善に向けたベクトル

この大事件で自分は
大変なことになっているんだ！
なんで自分だけがこんな思いを
しなければならないんだ！



≡ なぜ BOSS の人たちが 7 年顧客になるのか



BOSS の人たちの脳には

なぜ BOSS の人たちが 7 年顧客になるのか



BOSS の人たちの脳には

なぜ BOSS の人たちが 7 年顧客になるのか



BOSS の人たちの脳には

なぜBOSSの人たちが7年顧客になるのか



× 人間関係 ×

なぜBOSSの人たちが7年顧客になるのか



恐怖

BOSSの人たちの特徴を知り、しっかり対応すれば、
他院に流出するリスクはほとんどない

7年間の損失



1人おおよそ年24万円

7年間の損失



10人で年240万円

7年間の損失



7年間で
1,680万円損失

BOSSの人たちに共通する対応 ～潜在意識～

＜一般の患者さん＞

「 ○○さんの痛みの原因は… 」

「 改善するための施術方針は… 」

＜BOSSの人たち＞

「 その前に、このつらさを分かってよ！ 」

5つの留意点

- 異常な (特別な) 人間ではない
- 精神的に弱いから起こったのではない
- 本人の責任ではない
- ゆっくり回復していく症状である
- 必ず良くなる

三 かけてはいけない言葉

叱咤、激励、提案、ごまかし、否定

- × 「早く良くなってください」
- × 「頑張ってください」
- × 「原因は何ですか？」
- × 「〇〇さんがいないと職場の方々が困るでしょうね」
- × 「前向き(ポジティブ)に考えましょう」
- × 「楽しみ(趣味)を見つけてください」
- × 「気晴らしに外出(旅行)でもしたらどうですか？」

三 かけてほしい言葉

理解、共感、在りのまま < 5歳児に声をかけるように >

- ◎ 「見た目が普通だから、
なかなか理解してもらえないんですよね 」
- ◎ 「 毎日を過ごすだけで精いっぱいじゃないですか？ 」
- ◎ 「 ご自分を犠牲にしてまで頑張ってきたんですね 」
- ◎ 「 それは、あとでまた考えればいいんじゃないですか？ 」
- ◎ 「 ○○さんだけでなく、同じ症状を持った方々が
他にも通院していますよ 」
- ◎ 「 何も変える必要ないですよ 」
- ◎ 「 検査で出なくても、実はちゃんと原因はありますよ 」

三 うつ病を持った患者さんの対応

ほとんどが自虐的思考 <生涯有病率 17 %>

- 自律神経のバランスというより、自律神経活動そのものが低下している状態で、生命力が低下している。
- 心身の不一致感が強く、
「自分では動けないから、誰か何とかして！」
という状態。
- ◎ 「心と体がバラバラな感じなんですよね」

三 うつ病を持った患者さんの対応

“うつ” がうつらないために

“ フィルター法 ”



パニック障害・不安障害を 持った患者さんの対応

常に恐怖心を持っている <生涯有病率3～4%>

- 自律神経の交感神経と副交感神経が、交互に乱高下している状態で、交感神経亢進と副交感神経亢進の両方の症状に苦しんでいる。
- 『発作が起きたらどうしよう』（予期不安）
『ここで発作が起きたら恥ずかしい』（広場恐怖）への対応が必要。
- ◎ 「いつでも施術を中断できますので、
つらくなったら、遠慮なく言ってくださいね」

パニック障害・不安障害を 持った患者さんの対応

万が一、発作が起こった場合は…

- 姿勢を変える
⇒ 動いてはいけないことが誘因になる
- 水を飲ませる
⇒ 副交感神経へのスイッチング
- 手足や腹部を温める
⇒ 副交感神経へのスイッチング
- 側にいてあげる
⇒ 「何も気にしなくて大丈夫ですよ」

三 強迫性障害を持った患者さんの対応

ほとんどが他虐的思考 <生涯有病率2%>

- 自律神経の交感神経が常に亢進
- 間違ったことや筋の通らないことに強く反発
- 強迫性障害は代替行為
- 本人の自覚がない場合はその症状に触れない
- 反論しない

◎「〇〇さんは、とても正義感が強いんですね」

自律神経失調症を持った患者さんの対応

“自律神経失調症” という病名は正式なものではない

自律神経の失調による症状の原因

- ①メンタル要因(性格、人間関係など)
- ②身体要因(姿勢、ダイエット、ホルモンバランスなど)
- ③習慣要因(偏食・過食、睡眠、日光不足など)
- ④環境要因(冷え、騒音、空気汚染など)

● ②③④の可能性が高い場合…

交感神経亢進 or 副交感神経亢進

● ①の可能性が高い場合…

BOSSの人たちに共通する対応

BOSSの人たちに共通する対応 ～顕在意識～

内面で起こっていることに気付いていない

⇒表面(顕在意識)的には“痛み”や“不快症状”
を解決したいと訴えている

⇒潜在意識の癒しが最優先だが、この訴えも後回し
にできない。

⇒さらに精神的に余裕がない

⇒通院を重ねるうちに症状が改善していくことを
待ってられない。

⇒そこで、表面(顕在意識)的に訴えている、症状
の改善を早急に実感させる必要がある

三 首・肩・腰・ひざの痛みを数秒から数分で
消失、または、激減する手技療法

鎮痛療法

“潜在意識を癒す” ことによって安心感を与え
“顕在意識の主訴改善を実感” することによって
一瞬でラポール(信頼)を築けば
BOSSの人たちは “7年顧客” になる

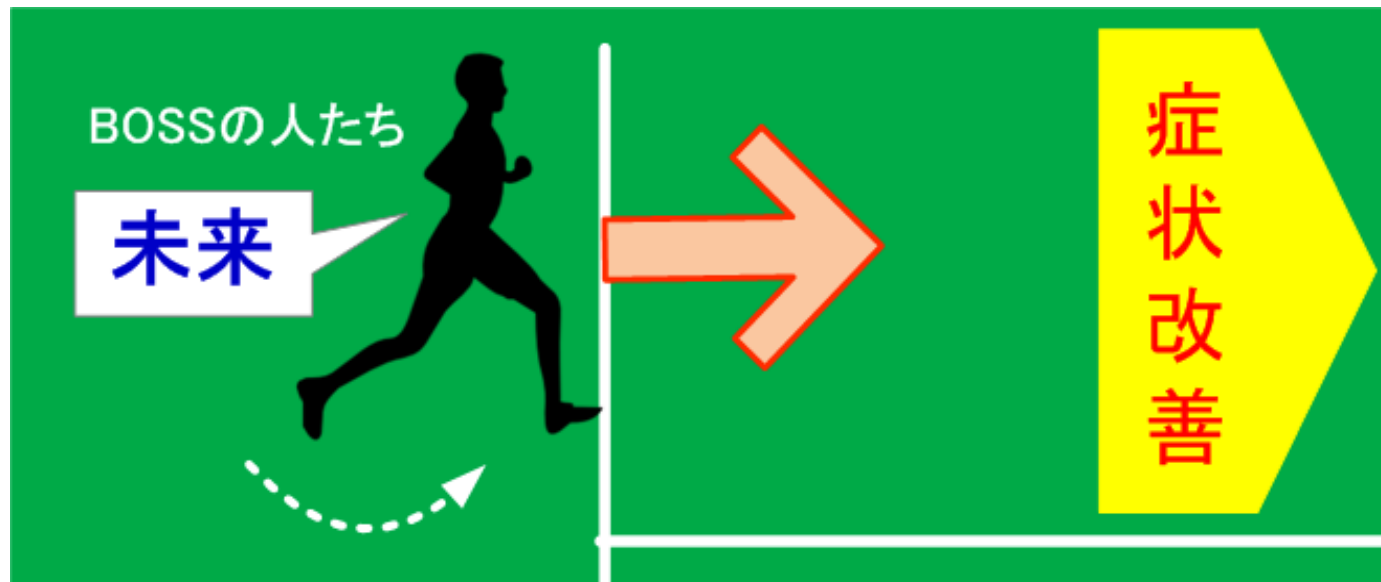
≡ ベクトルが前に向いたサイン

“未来”を話し出す

「今度〇〇に行くんです」

「昔やっていた〇〇を

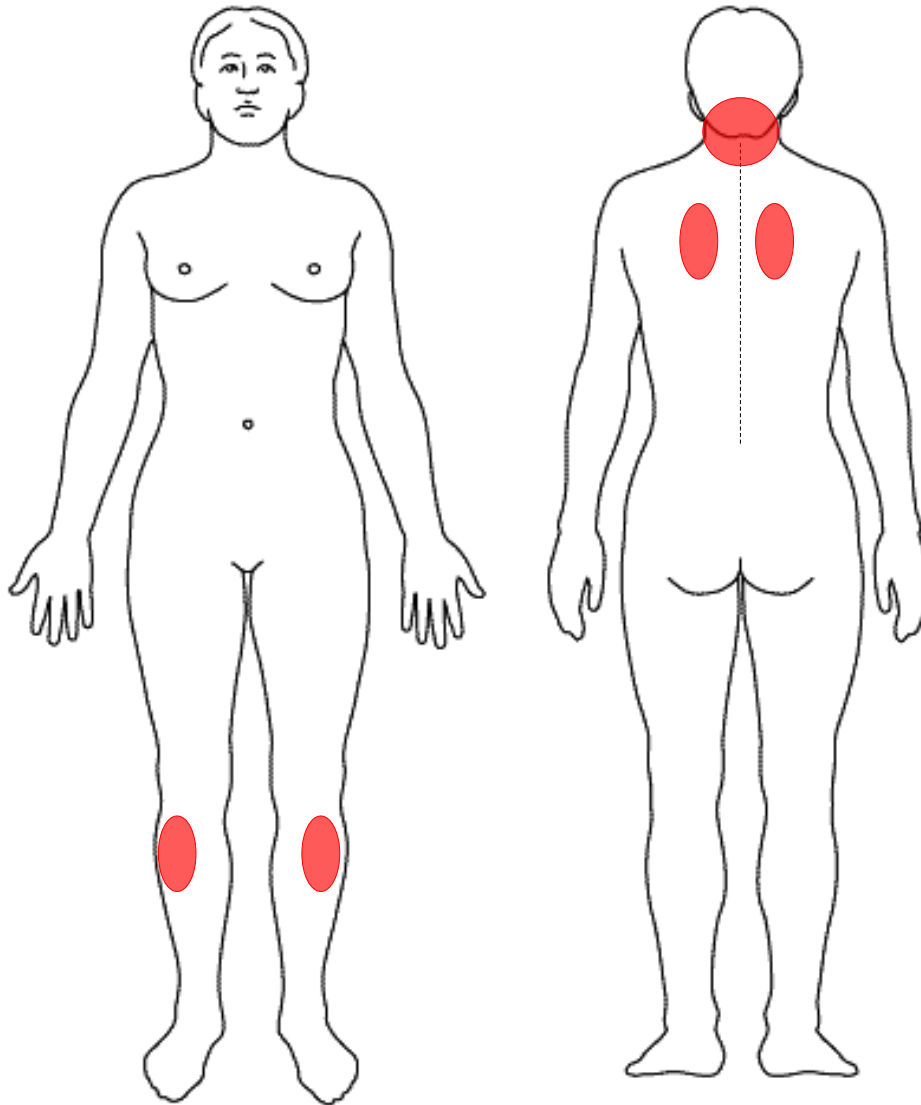
また始めようと思います」



BOSS の人たちの対応 + *a*

- 施術を追加してほしい3ポイント
 - ⇒ 不安、イライラ、ストレスケア、どうき、背部痛
- 脳の癒しと頸椎の緊張緩和を同時に行う
 - ⇒ 頭痛、めまい・ふらつき、首・肩こり
- 腹部とメンタルの関係
 - ⇒ メンタルケア、免疫力アップ、緊張緩和
- 症状改善に貢献できるアドバイス
 - ⇒ 食養生は BOSS 改善の最良策

≡ 施術を追加してほしい3ポイント



- ① 後頭部
…脳骨髄液
- ② 肩甲骨内側
…脳血流
- ③ 前脛骨筋
…全身のコリ緩和

三 脳の癒しと頸椎の緊張緩和を同時に行う

刺激を与えて痛みを感じる指を施術



親指…

CM→MP→IP

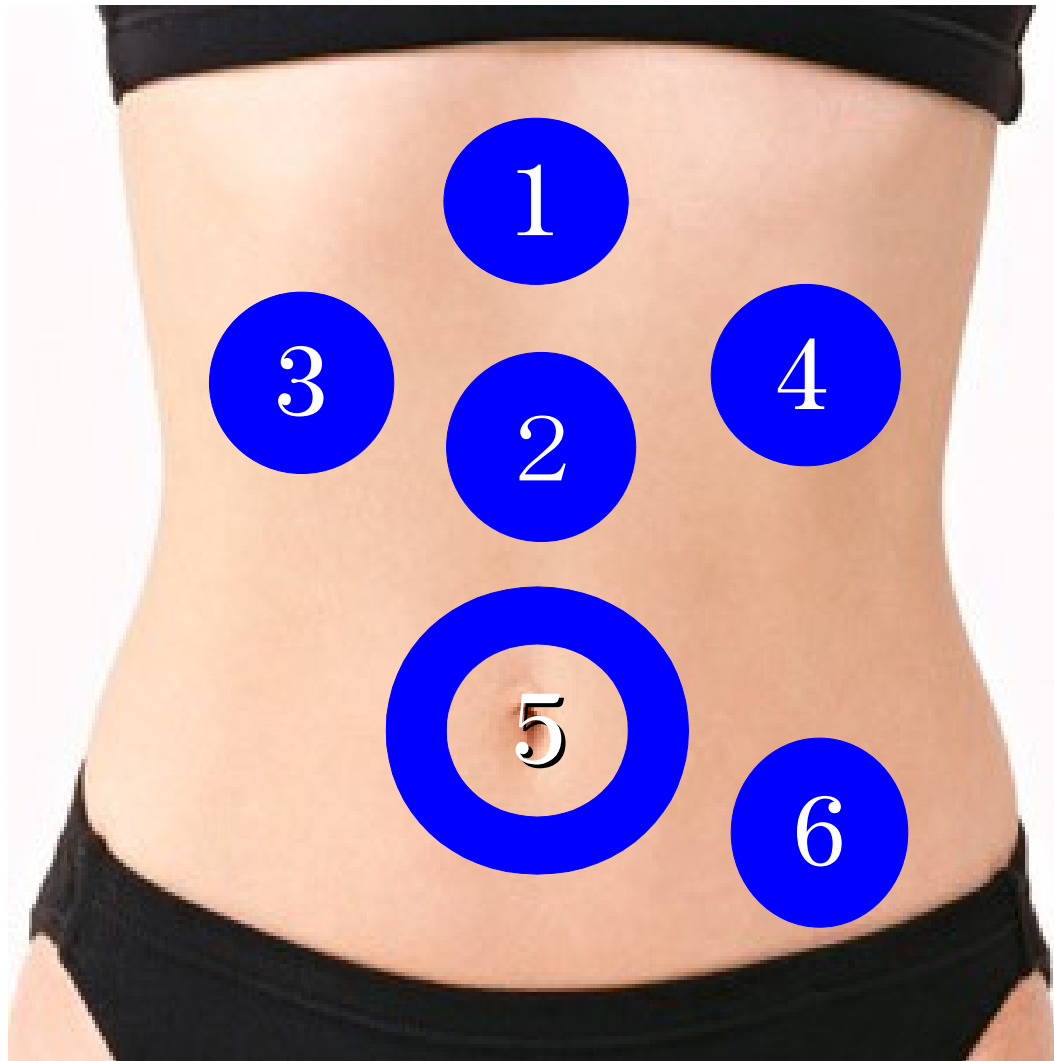
他の指…

MP→PIP→DIP

の順に

- ① ひねる
- ② 前後左右
- ③ 回す

≡ 腹部とメンタルの関係



- ① 脳疲労状態
- ② 抑圧・我慢
- ③ イライラ・焦り
- ④ ゆううつ・落ち込み
- ⑤ 食欲のムラ
- ⑥ 気疲れする人がいる

≡ 症状改善に貢献できるアドバイス

脳(心)に必要な
栄養素



うつ病に有効とされる栄養素

- トリプトファン

⇒ 大豆(豆腐)、海苔、ゴマ、まぐろ、チーズなど

- フェニルアラニン

⇒ 鶏肉、牛肉、ラム肉、かつお節、卵黄、ピーナッツ、アーモンド、バナナなど

- チロシン

⇒ タケノコ(特に豊富)、メンマ、じゃこ、チーズ、たらこ、大豆など

- メチオニン

⇒ 大豆、ゴマ、ヒマワリの種、カシューナッツ、しらす干し、かつお節、まぐろ、ひらめ、金目鯛、スジコなど

パニック障害・強迫性障害などに有効とされる栄養素

- **イノシトール**

⇒ 小麦胚芽、オレンジ、すいか、メロン、グレープフルーツ、桃など

- **トリプトファン**

⇒ 大豆(豆腐)、海苔、ゴマ、まぐろ、チーズなど

- **GABA**

⇒ じゃこ、なす、南瓜、発芽玄米、漬物、醤油、みそ、キムチなど

- **ヒスチジン**

⇒ 鶏、鴨、豚、七面鳥、小麦胚芽など

- **グリシン**

⇒ 鶏、鴨、豚、七面鳥、ランチョンミートなど

- **タウリン**

⇒ いか、たこ、ほたて、牡蠣、さざえ、かつお、ぶり、はまぐりなど